

# 2021学生図書委員会 第一回活動

## LibrariEでみつけた私のオススメ本

### 大学時代に学ぶべきこと、学ばなくてよいこと

現在緊急事態宣言が発令され、授業もオンラインメインのものが多くなったので、本来大学とはどんなことを学ぶべきなのかのと疑問に思い、この本を選びました。前半部分については今の日本の大学の制度についてや、今後こうしたらより良くなるのではないかと書いたようなことが書かれていました。また、大学生のうちには都会になれたり、アルバイト経験をして社会経験を積むべきだというのが筆者の主張なのですが、社会人になつたらある種会社にも守られた環境の中で仕事ができますが、大学生のアルバイトはそのように制度によって守られているわけではない反面、長年経験を積むと頼りにされる存在としてそれなりの責任感があると書いたように、社会人とアルバイトとしての働き方には違いがあると主張していました。そのため学生のうちにアルバイト経験や様々な人がいる都会にしておくという筆者の考えに賛成しました。また具体的な例として大学名を出して、この大学はここが悪いと言ったようなことも主張していたため、こんな考えもあるんだなと勉強になりました。

【文芸3\_あみ】



### すぐに真似できる天才たちの習慣00

この本は、私たちが普段行う習慣があるように天才と呼ばれる人物にも習慣が存在し、国内外様々な人たちからどのような意図でその行動を習慣づけていたのか学ぶことができます。大きく分けて「仕事・メンタル・教養・人間関係・健康」に関する習慣が掲載されています。目次に人物とその習慣が一覧で載っているため、気になったページが読みやすい構成になっており時間があまりない方にもおすすめです。私が特に印象に残ったのはスティーブ・ジョブズの「今日が人生最後の日なら？」と毎朝、鏡の自分に問う」という習慣です。スティーブは病気を患ったことからそういった死生観に向き合うようになり、この習慣を続けていました。このような体験はなかなか経験できませんが本を読むことで、様々な価値観を本を通して知ることで人生に活かすことができます。また読み進めていくと様々なジャンルの人々なのにも関わらず共通点が見えてくるのも面白いと感じるポイントです。ひとつひとつの習慣が簡潔にまとめられているため、普段本をあまり読まない方でも読みやすくおすすめです！

【家政2\_りの】



### 英語で泣けるちょっといい話

収録されているすべての話が初級レベルの英単語で書かれているので、多読をしたことがない人や英語が苦手な人でも楽しめます。英文を読む習慣がなかったので、この本で多読の感覚をつ掴むことができました。内容も「ちょっと泣ける」というものなので、読みやすいです。

【文芸4\_なえ】



### たった一人の大金持ちと50人の貧しい村人たち

世界のお金の流れ、貧しさと豊かさの比率、貧困がなくならない理由、お金で解決できるはずの社会の問題などをとても分かりやすく説明しているのので、世界の経済について全くの無知でも夢中になって読むことができる。ぜひこの本は世界のお金について今まで何も考えてこなかった人たちに読んでほしい。世界の人口を100人に仮定して考えてみるだけでいかに貧富の差が深刻なのかわかるはずだ。「お金」というとなんとなく汚いもの悪いものといったイメージを持つことが少なからあるがこの本ではお金が社会を変えることのできる可能性も伝えていた。私たちが日々生きていく中で必ず必要とするお金について今一度考えるきっかけを与えてくれる本である。

【文芸1\_こころ】



### Crime and Punishment 罪と罰

リーダーシリーズであるため、おすすめポイントは英語の多読ができることです。この物語は主人公が殺人を犯すというのですが、共感したところは殺人を犯したこと、つまり自分の罪を周りに打ち明けることができないという悩みを持つところです。私も「やってしまった。」と思うけどそれを周りに打ち明けにくいという悩みを抱えることはあったので、似てるなと感じました。ほかのメンバーの意見として、この本は「殺人を犯す」という主人公の心理に深く追求したものであることや、ホラーを感じるという意見があった。

【家政2\_はつね】



### 考える力を鍛える論理的思考レッスン

北村良子 私はリーダーシップ開発入門演習（他学部だと「総合教育ワークショップ」で知られているかと思います）のLAをやっています。その授業の中で論理思考について扱うのですが、この本を読めば理解度が深まりました。論理思考は奥が深いです。難しいと感じる人がいると思いますが、皆さんにもぜひ論理的思考に触れて欲しいと思い、選書しました。

【ビジネス2\_まるちゃん】



## 星の王子さま

この本では、物事の大切さについて考えることができます。当たり前になっていたことが実際は全然違うことや、自分自身にとってとても大切であることを考えさせてくれる本です。

【国際 2\_しおり】



## ライオンのおやつ

この本のおすすめポイントは、日常の中の小さな幸せが描かれていることです。自分が当たり前享受到している些細な出来事が、実はとても幸せなことなのだと気付かされます。余命僅かの主人公の物語を通して、今のコロナ下の状況を始め、自分の思い通りにならないことに対する向き合い方が見つかるので是非読んで欲しいです。

【文芸 2\_りさ】



## アンダーグラウンド

この本を読んで地下鉄サリン事件の悲惨さ残酷さ、そして事件から20数年、事件当時を生きていない私たちがこの事件をどう受け止めどう教訓を受けるか。事実から考察まで色々考えながら読んで欲しい。

【生活 1\_まさこ】



## 就活成功塾

就活そして社会人になるまでに、大学生活で身につけておきたいスキルについて書かれています。読んだ本についてのブックリストを作成するというのは自分も実践していきたいと思いました。就活前の2,3年生にはぜひ読んでみてほしい一冊です。

【文芸 3\_みわ】



### 時をかけるゆとり

この本は、『何者』で戦後最年少の直木賞受賞者となった朝井リョウさんのエッセイ集です。学生時代のエピソードが中心の短編のエッセイ23編で、クスツと笑えて、読みやすく、元気をもらえます。『地獄の100キロハイク』など、自分ではなかなかチャレンジできないような面白い経験のエッセイも読めておすすめです。

【文科1\_あんじゅ】



### 本をめぐる物語

私が今回紹介した本をめぐる物語は本をテーマにした短編を集めたアンソロジー本なので、空き時間にサクッと読める、作者が違うのでお気に入りの作者を見つけられる、作風が違うのでお気に入りの作風を見つけられる、本を読むことの意義を考えさせられるといふ3つの利点がある。故に、あまり読書に慣れていない人や読書の時間を取りづらい人におすすめしたい。

【文芸1\_みづき】



### かがみの孤城

何度読んでも、自分が中学生だった頃の感情をリアルに思い出させるストーリーに感銘を受けた。

【文芸2\_あや】



### 人生を変える話し方の授業

ストーリーの中から話し方のコツを学べる「ノウハウ小説」の形式が新鮮です。発声の仕方等が具体的に書かれており、授業での発表やプレゼンの際にもきっと役に立ちます。

【文芸3\_みづき】



### マンガでわかる心理交渉術

突然ですが、あなたはこう思ったことはありませんか？—相手にYESといって欲しい！—失敗してしまったけれど、わざとじゃないから許して欲しい…—そんな願いを叶えてくれるのがこの本です。この本はいくつかの短編ストーリーが漫画で描かれ、その中に出てきた心理交渉術を文章でわかりやすく説明しています。心理交渉術というと難しく聞こえますが、実は簡単で、すぐに実践できるものばかりです。ほとんどが漫画で短いため読書が苦手という方にもオススメです。また、著者のメンタリストDaiGoさんは有名な方で、テレビ番組などに出演されています。DaiGoさんが気になるという方にもこの本はオススメです。実生活に役立つ上にストーリーも面白いので、ぜひ1度読んでみてください。

【文芸1\_あいか】



### 夢を喰った男たち

この本は、1970～80年代に放送され、人気を博したオーディション番組「スター誕生」の審査員を務めた作詞家、阿久悠のドキュメントです。当時の歌謡界、テレビ業界、プロダクションとの確執など作者がそのままに語り、芸能界やテレビ業界に興味がある方には是非おすすめしたい一冊です。番組からデビューした歌手山口百恵、岩崎宏美、ピンクレディーなどのことが作詞家目線、彼女らをただの少女からスターに仕立て上げた者目線で書かれていることも本書の特徴の一つです。また、『『アイドル』とは何か』について述べている箇所があるのですが、筆者の語る『アイドル』と、現代の『アイドル』と、比較してみるのも面白いと思います。この本を片手に、古くも新しい自分のスターを発見してみたいかたがででしょうか。

【文芸1\_りお】

